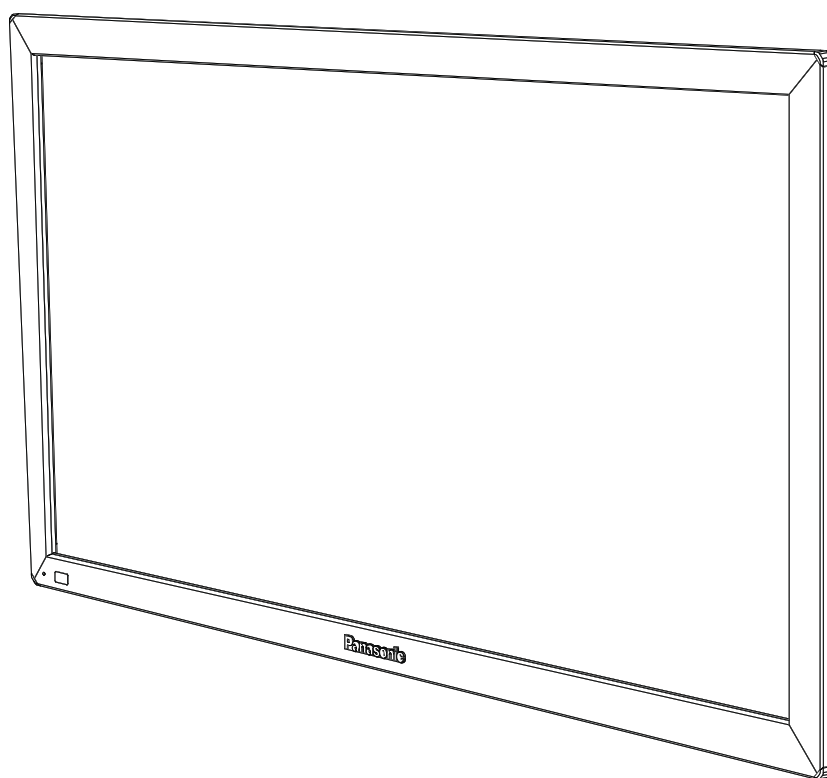
Panasonic®

取扱説明書

光学式タッチパネル 業務用

品番 TY-TP42P30K（42V 型用）
TY-TP50P30K（50V 型用）
TY-TP60P30K（60V 型用）
TY-TP65P30K（65V 型用）

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（2 ～ 3 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■ **専門業者以外は取り付けを行わないでください**
取り付けの不備により、落下して、けがの原因となります。

■ **本機の分解、改造はしないでください**
火災・感電の原因となります。

■ **故障や異常のまま使用しないでください**
煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
● 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、おやめください。

■ **近くに水などの入った容器を置かないでください**
水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水など液体の入った容器）

安全上のご注意 （必ずお守りください）

⚠ 警告

■ **水をかけたり、ぬらしたりしないでください**
火災・感電の原因となります。

■ **異物を入れないでください**
内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
● 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

■ **カタログで指定した機器本体以外には使用しないでください**
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

■ **指定方法以外の取り付けは行わないでください**
取り付けの不備により、落下して、けがの原因となります。

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください**
火災・感電の原因となることがあります。

■ **取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください**
機器本体が落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

■ **機器本体の取り付け、取り外しは 2 人以上で行ってください**
機器本体が落下してけがの原因となることがあります。

■ **組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください**
不十分な組み立てかたをすると、外れたり破損してけがの原因となることがあります。

■ **移動させるときは接続線をはずしてください**
接続したまま移動させると、落下・転倒し、けがの原因となることがあります。

業者様へのお願い

■ **取り付け終了後はお客様へこの説明書をお渡しください。**

■ **取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**

お手入れ / 上手な使いかた

■設置するとき

タッチパネルは下記のような場所をさけて設置してください。

●直射日光のあたる所や強力な光源に近い所

本機は赤外線を使った光学式タッチパネルですので、影響を受け誤動作の原因となります。

●ほこりや湿気の多い所

●衝撃や振動の加わる所

●薬品や蒸気が発散している所や薬品に触れる所

●電気的ノイズ発生源（発電機、エアコンなど）に近い所

■使用するとき

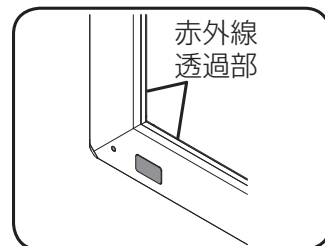
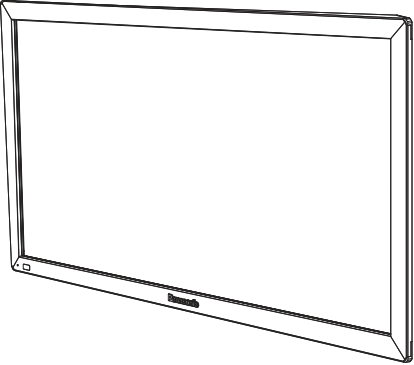
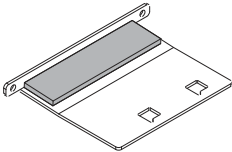
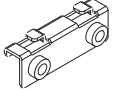
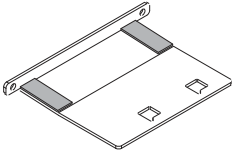
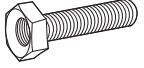
●パソコンの電源を入れてから OS が立ち上がるまで、赤外線透過部および画面には触れないでください。

素子不良として検出され、正常に動作しなくなります。その場合はパソコンを再起動してください。

また、USB ケーブルの抜き差しの場合も同様に、赤外線透過部および画面には触れないでください。

●赤外線を使用した他の機器をご使用の場合は、誤動作しないよう離れた所でご使用ください。

●タッチペンは、必ず本製品に同梱されている付属の専用タッチペンをご使用ください。付属以外の製品をご使用の場合は、動作保証ができません。

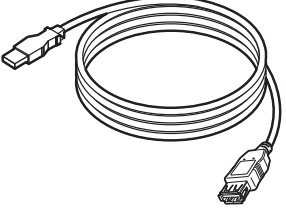
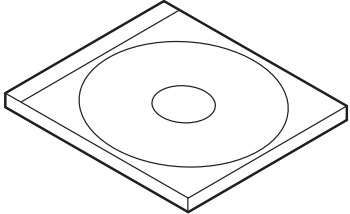
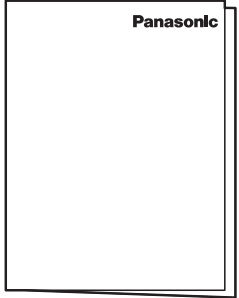
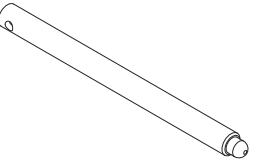
●タッチパネルご使用中は、タッチパネル本体を押すなど負荷をかけることのないようご注意ください。

■移動するとき

●移動のときは衝撃を与えないでください。故障の原因になることがあります。

●移動のときは機器本体を持って行ってください。

本機を持って移動させると故障の原因となることがあります。

●USB ケーブルを持って運搬しないでください。

USB ケーブルが損傷し故障の原因となることがあります。

■お手入れについて

必ず USB ケーブルを外してから行ってください。

●本機表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

ひどい汚れは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で軽くふいてください。水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。

機器本体の画面も同様です。また画面を強くこすらないでください。

●赤外線透過部の汚れは柔らかい布でふき取ってください。

1 日 1 回は、赤外線透過部の汚れを柔らかい布でふき取ってください。

赤外線透過部の汚れが原因で不具合が発生した場合は、軽くふき取るだけで機能は回復します。

ひどい汚れは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

●スプレー洗剤など直接かけないでください。

水滴が内部に入ると、故障の原因になる場合があります。

●殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけないでください。

パネルが変質したり塗装がはがれます。

●ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

キャビネットが変質する原因となります。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

● 1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

内部にほこりがたまると、タッチ検出のための赤外線ビームの光量が低下して、動作不良になることがあります。1 年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください。

構成部品（部品と員数の確認を行ってください）

タッチパネル本体（1 個）	取り付け金具 A（上用）（2 個）	取り付け金具 B（4個）
		取り付け用ねじ A（8本）
	取り付け金具 A（下用）（2 個）	取り付け用ねじ B（8本）

付属部品

USB 延長ケーブル（1 本）	CD-ROM（1 枚） •取扱説明書 •ドライバーソフト	取扱説明書（1 部）
タッチペン（2本）		

■ イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

■ 製品の仕様を予告なく変更する場合があります。

● Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
（Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です）

● その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

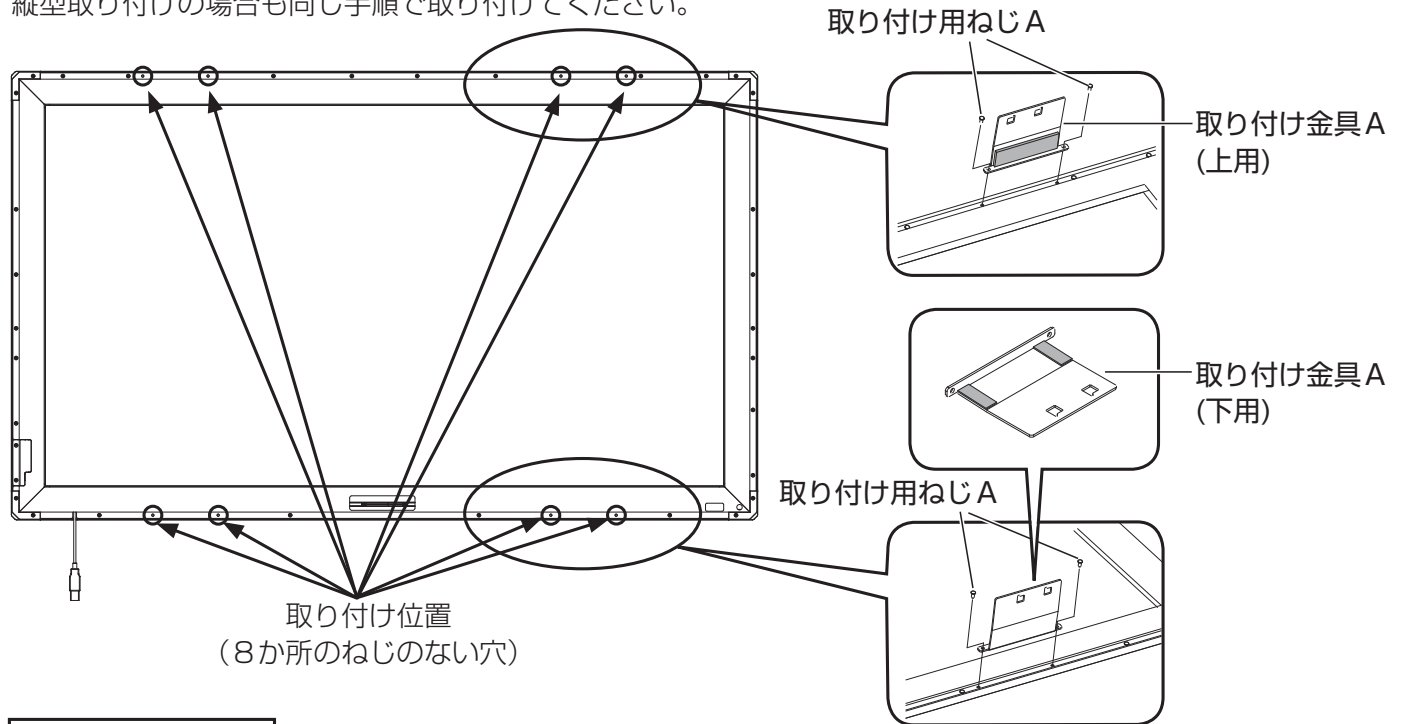
タッチパネルの組み立て

お願い

- 作業中タッチパネル本体表面にキズや汚れが付かないように、きれいな布や毛布などをしき、その上にパネル表面を下にして置いてください。

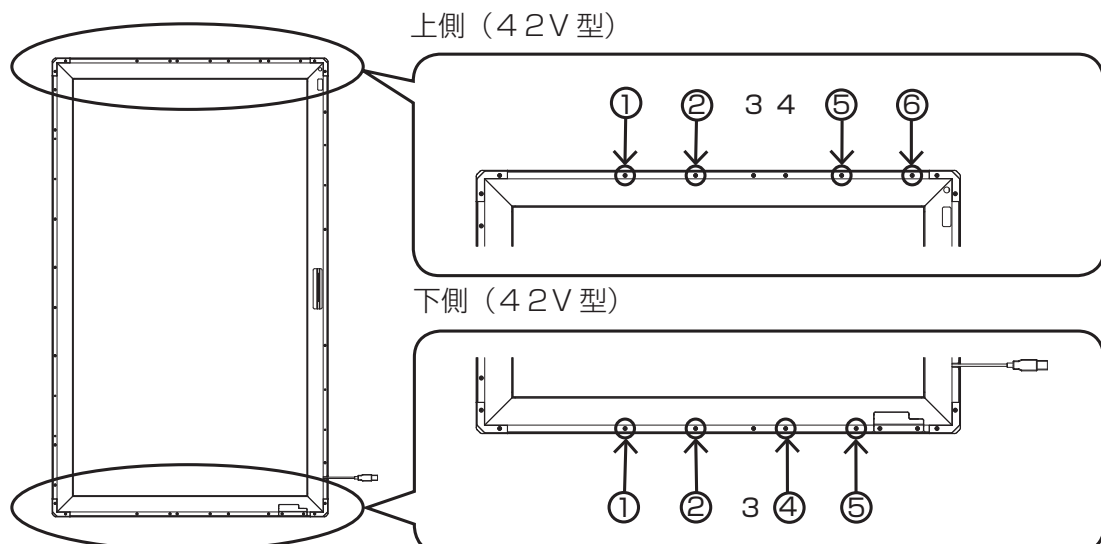
横型取り付けの場合

取り付け金具Ａ (上用、下用) を取り付け用ねじＡ (各２本) でタッチパネル本体に取り付けてください。
取り付け位置のねじ穴は下図を参照してください。

縦型取り付けの場合も同じ手順で取り付けてください。

縦型取り付けの場合

金具を取り付ける位置を下図で確認し、ねじ (上下計８本) を外してください。
外したねじ穴に取り付け金具Ａ (上用、下用) を取り付け用ねじＡ (各２本) で取り付けてください。

お願い

- 42V 型以外のねじ穴は、「ねじ穴図」（15 ページ) を参照してください。
- 外したねじは保管してください。

タッチパネルの取り付け

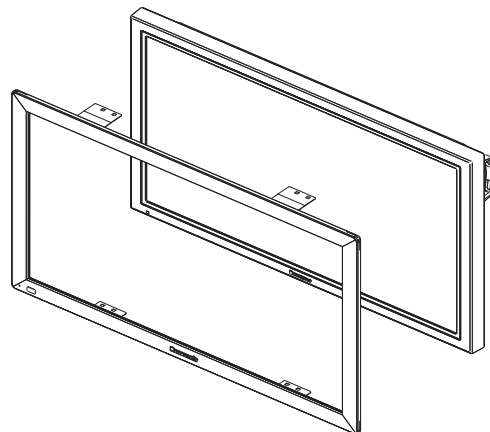
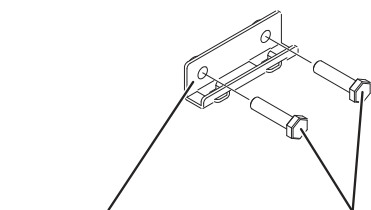
お願い

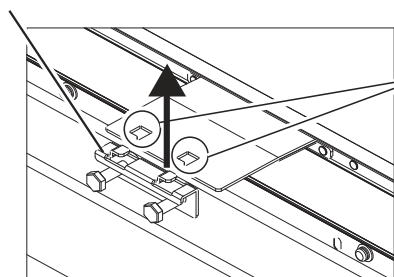
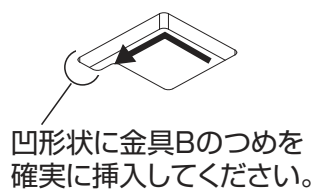
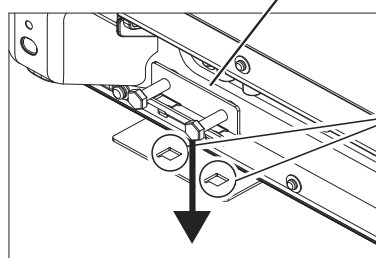
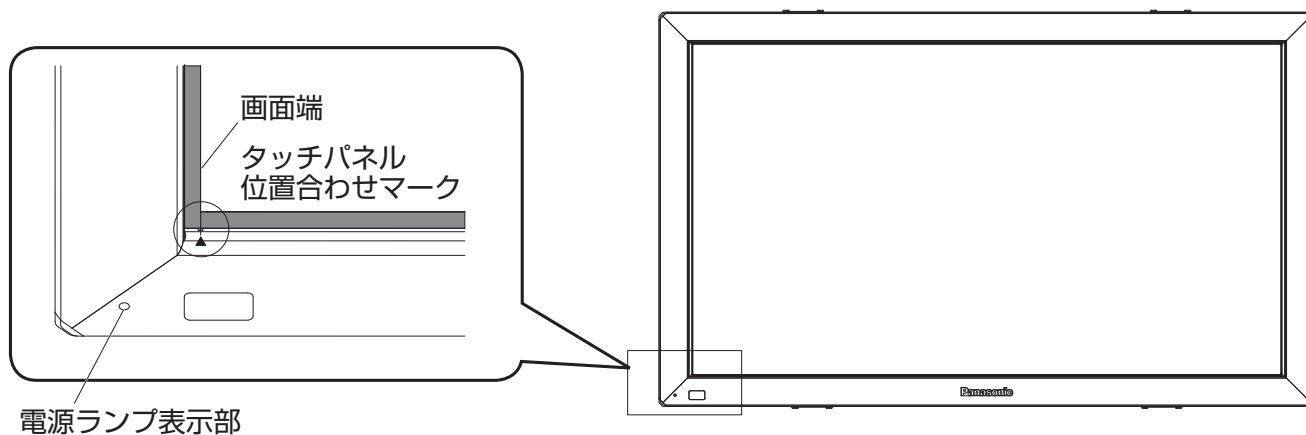
- 取り付け作業は必ず 2 人以上で行ってください。
- タッチパネルを下に置いたまま機器本体を上から重ねての取り付けは、**絶対にしないでください。**
  タッチパネルが破損する恐れがあります。

1 組み立てたタッチパネルを機器本体の正面からはめ込みます。

お願い

- タッチパネルと機器本体前面部の間に隙間がないように取り付けてください。

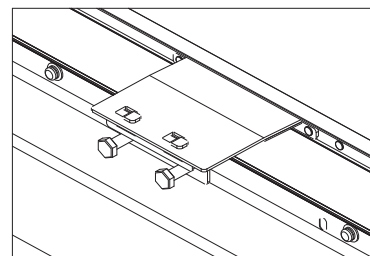
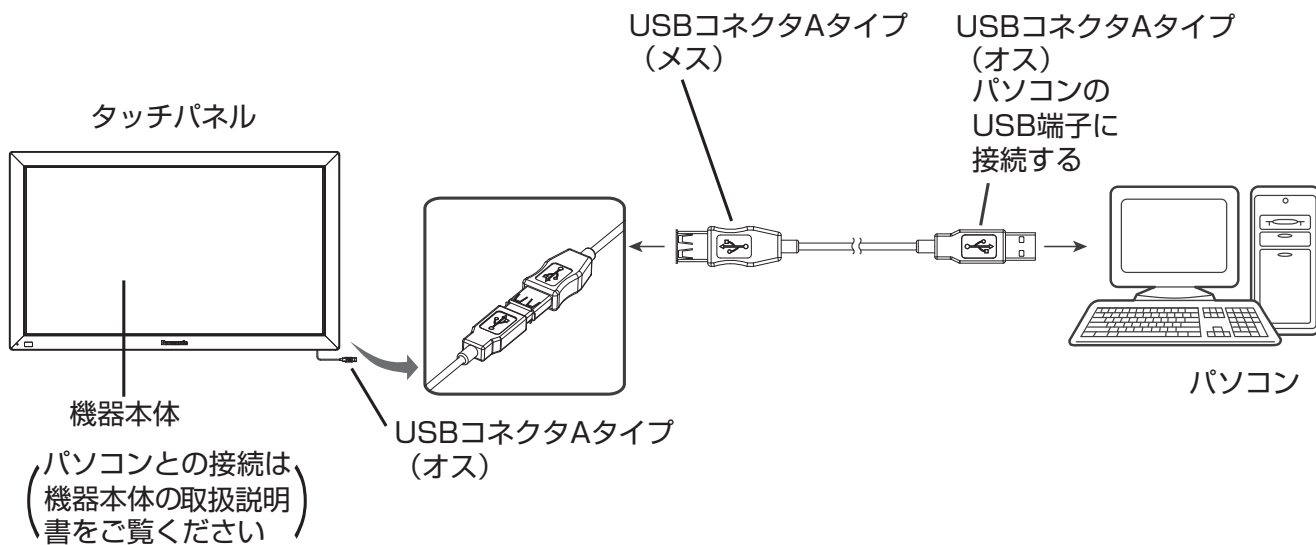
縦型取り付けの場合も同じ手順で取り付けてください。
USB 端子が正面から見て左下になるように取り付けてください。

2 取り付け金具 B の準備をしてください。

3 上部左右の取り付け金具 A（上用）に取り付け金具 B を下図のように取り付けてください。
ねじは仮止め状態にしてください。
下部左右についても同じ手順で取り付けてください。

上部の取り付け

下部の取り付け

4 下図の位置合わせマークを基準にして、タッチパネルに片寄りのないように正面から調整してください。

5 位置調整後、仮止めしたねじを完全に固定してください。

● ねじを締めすぎると金具が変形する恐れがありますのでご注意ください。

お願い

● タッチパネルと機器本体前面部の間に隙間がないようにしてください。

● 電源ランプ表示部から電源ランプの点灯が見えることを確認し、位置がずれて見えない場合は左右にタッチパネルを動かし微調整してください。

パソコンとの接続

注意

- ＵＳＢ延長ケーブル接続の際に画面上の赤外線透過部を指などで遮っていると、初期化中に不良有りと検出され、そのまま使用すると部分的にタッチ検出ができなくなる場合があります。
  その場合は、ＵＳＢ延長ケーブルをいったん外して再接続してください。この時、パソコンの再起動は不要です。
- ケーブルによっては正常に動作しないことがありますので、ＵＳＢ延長ケーブルは本体付属のものをご使用ください。

動作条件

パソコンＯＳ

IBM PC/AT 互換機で、USB ポートを搭載している 下記ＯＳが動作する機種 Windows XP　(SP2 以上､32bit 版または 64bit 版) Windows Vista　(32bit 版または 64bit 版) Windows 7　(SP1 以上､32bit 版または 64bit 版)

注意

- USB ポートが正常動作している必要があります。
- 以前のバージョンのドライバーがインストール済みの場合、タッチパネルの USB ケーブルをパソコンから取り外した後にアンインストールし、改めてインストールしてください。
- タッチパネルドライバーのインストール、アンインストール方法については、付属の CD-ROM 内のタッチパネルドライバーソフトインストールマニュアルを参照してください。
- Windows7 の場合、タッチパネルドライバーのインストールは不要です。
  WindowsXP、Vista をご使用の場合、ＵＳＢ延長ケーブルの接続及びタッチパネルドライバーソフトのセットアップは、添付の CD-ROM 内のドライバーソフトインストールマニュアルの手順に従ってください。

タッチ操作

付属のタッチペンをご使用ください。
ご使用の OS により可能なタッチ操作が異なります。
また、Windows XP、Vista ではデュアルタッチはできません。

	Windows		機　　能
	XP/ Vista	7	
シングルタップ	○	○	マウスの左クリックとして動作します。
ダブルタップ	○	○	素早く２回タッチすることでマウスのダブルクリックとして動作します。２回目のタッチは画面開口部から十分に離してから行ってください。距離が十分でない場合、ダブルタップがうまく認識しない場合があります。
ドラッグアンドドロップ	○	○	タッチした後、離さないまま移動し、移動したあと指を離すことでマウスのドラッグアンドドロップとして動作します。
フリック	×	○	実行頻度の高い操作を設定し、行いたい機能がある方向へ弾くように指を移動させることによりその操作を行うことができます。
プレスアンドホールド	×	○	右クリックする画面にタッチしたまま押し続けて、離すことにより右クリックとして動作します。
パン	×	○	スクロールバーが付いたページで、タッチしたままスクロールしたい方向へ動かすと動きに合わせてスクロールできます。
ズーム	×	○	拡大・縮小できる画面で２本の指で画面に触れ、両ポイント引き伸ばすようにして互いに遠ざけると拡大します。両ポイントを挟み合わせるようにして互いに近づけると縮小します。
プレスアンドタップ	×	○	１本の指で画面にタッチしたまま、別の指ですばやくシングルタップすることによりマウスの右クリックとして動作します。

注意

- Windows 7をご使用の場合、コントロールパネルの「ペンとタッチ」の「マルチタッチジェスチャとインクを有効にする」のチェックが入っていることを確認してください。
- ２点で操作する場合にタッチ動作が素早い時や、２点間の距離が小さい時、及び２点が交差する時は正しく動作しない場合があります。
- センサーと操作する指の間に障害物があると正しく動作しません。
- タッチ操作の詳細は Windows のヘルプを参照してください。

修理を依頼される前に

「故障かな？」というとき、タッチパネルがうまく動かないとき、修理を依頼される前に次の内容を確認してください。Windows XP、Vista の場合、付属の CD-ROM の中のタッチパネルドライバーインストールマニュアルの「トラブルシューティング」も合わせてご参照ください。

Windows XP、Vista、7の場合　　　　*1 Windows 7 のみ

こんなとき	確　認	処　　置	ページ
タッチしても全く応答しない	ＵＳＢケーブルが正しく接続されていますか？	ＵＳＢケーブルが抜けていませんか。 ＵＳＢハブをご使用の場合は、ＵＳＢハブから電源供給されているかを確認してください。	9
		付属のＵＳＢ延長ケーブルを使用していますか。 ケーブルによっては正常に動作しないことがありますので、本体付属のＵＳＢ延長ケーブルをご使用ください。	5
	周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？	本機は赤外線を利用したタッチパネルです。赤外線を含む外来光により、タッチパネルの動作に障害が生じることがあります。 太陽光：タッチパネルの赤外線透過部に直接太陽光が当たらなければ問題ありません。 蛍光灯：一部の蛍光灯（特にインバータ方式）で赤外線が出るものがあり注意が必要です。 白熱電灯：最も赤外線が多く、注意が必要です。できるだけ本機から光源を離すか、赤外線透過部に直接当たらないようにしてください。 赤外線利用機器：リモコンなど赤外線を使用している機器をタッチパネルに向かって照射すると、誤動作の恐れがあります。	―
	ＯＳは起動していますか？	ＯＳを起動してください。	―
	パソコンの設定は正しく行われていますか？ *1	コントロールパネルの『ペンとタッチ』の『タッチ』で『入力デバイスとして指を使う』の左にチェックが入っているか確認してください。詳細は Windows のヘルプをご参照ください。	―
動作中、突然応答しなくなる	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	USB ケーブルが抜けていませんか。 USB ハブをご使用の場合はＵＳＢハブから電源供給されているかを確認してください。	9
	付近に強い電気的ノイズ源（発電機、エアコンなど）はありませんか？	ノイズなど電気的雑音が多く発生する機器のそばでの使用は避けてください。電源、インターフェイスなどに雑音が入り、誤動作の原因となります。	―

こんなとき	確　認	処　　置	ページ
動作中、突然応答しなくなる	周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？	本機は赤外線を利用したタッチパネルです。赤外線を含む外来光により、タッチパネルの動作に障害が生じることがあります。 太陽光：タッチパネルの赤外線透過部に直接太陽光が当たらなければ問題ありません。 蛍光灯：一部の蛍光灯（特にインバータ方式）で赤外線が出るものがあり注意が必要です。 白熱電灯：最も赤外線が多く、注意が必要です。できるだけ本機から光源を離すか、赤外線透過部に直接当たらないようにしてください。 赤外線利用機器：リモコンなど赤外線を使用している機器をタッチパネルに向かって照射すると、誤動作の恐れがあります。	—
応答が鈍い、または応答しない部分がある	周囲に強い光源もしくは赤外線を利用した機器がありませんか？	本機は赤外線を利用したタッチパネルです。赤外線を含む外来光により、タッチパネルの動作に障害が生じることがあります。 太陽光：タッチパネルの赤外線透過部に直接太陽光が当たらなければ問題ありません。 蛍光灯：一部の蛍光灯（特にインバータ方式）で赤外線が出るものがあり注意が必要です。 白熱電灯：最も赤外線が多く、注意が必要です。できるだけ本機から光源を離すか、赤外線透過部に直接当たらないようにしてください。 赤外線利用機器：リモコンなど赤外線を使用している機器をタッチパネルに向かって照射すると、誤動作の恐れがあります。	—
	付近に強い電気的ノイズ源（発電機、エアコンなど）はありませんか？	ノイズなど電気的雑音が多く発生する機器のそばでの使用は避けてください。電源、インターフェイスなどに雑音が入り、誤動作の原因となります。	—
	指より細い物でタッチ入力していませんか？	横７㎜ｘ縦７㎜より小さいもので入力すると分解能が低下したり、検出動作が遅くなったり、全く検出されない場合があります。	—
	パソコンのＯＳが立ち上がるまでに画面上の赤外線透過部に触れていませんか？	遮へい物などを取り除いた後、ＵＳＢケーブルを再接続、またはパソコンを再起動してください。	—
タッチした場所がずれる	キャリブレーション設定は行われていますか？ *1	コントロールパネルの『TabletPC 設定』の『調整』でキャリブレーションを行って下さい。詳細は Windows のヘルプをご参照ください。	—

こんなとき	確　認	処　　置	ページ
タッチした場所がずれる	タッチパネルを取り外しましたか？	タッチパネルを取り外し、再度取り付けると、前回の取付位置よりずれている場合があり、タッチ位置とカーソル位置があわなくなることがあります。タッチパネルを取り外したときは、必ずキャリブレーション設定を行って下さい。 Windows7 の場合 : コントロールパネルの『TabletPC 設定』の『調整』でキャリブレーションを行ってください。詳細は Windows のヘルプをご参照ください。 WindowsXP,Vista の場合 : 付属のドライバーソフトでキャリブレーション設定を行ってください。 キャリブレーション設定については、付属の CD-ROM の中のタッチパネルドライバーソフトインストールマニュアルをご参照ください。	―
デュアルタッチできない *1	Windows7 がインストールされた PC を使用していますか？ *1	デュアルタッチは Windows7 のみ対応しています。Windows7 がインストールされた PC をご使用ください。	―
	Window7 でタッチパネルドライバーをインストールしていませんか？ *1	Winodws7 の場合、タッチパネルドライバーをインストールするとデュアルタッチできなくなります。Winodws7 の場合、タッチパネルドライバーは不要ですのでタッチパネルドライバーをアンインストールしてください。	―

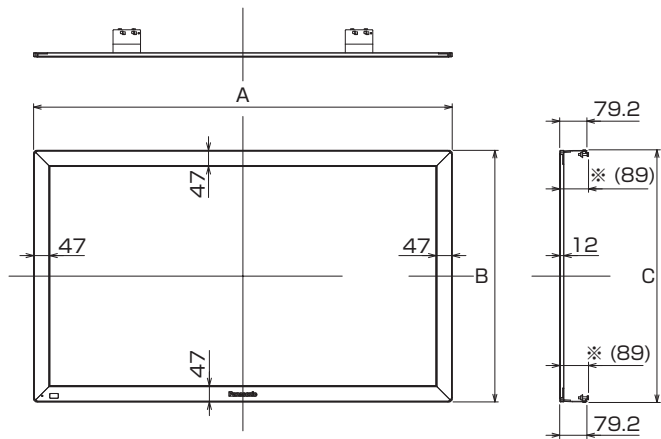
以上の確認事項を行われた後でも改善がなかった場合は、弊社営業所又はお買い上げの代理店にお申し出ください。

製品仕様

品番		TY-TP42P30K	TY-TP50P30K	TY-TP60P30K	TY-TP65P30K
種類		タッチパネル			
使用電源	電源電圧	DC +5 V ± 10%			
	電源電流	DC +5 V 最大 500 mA			
	供給方法	USB バスパワーより供給			
タッチパネル部	検出方式	赤外線遮断検出方式			
	パネル開口部	934.1 ㎜（幅）× 524.1 ㎜（高さ）	1124.1 ㎜（幅）× 638.1 ㎜（高さ）	1348.1 ㎜（幅）× 766.1 ㎜（高さ）	1468.1 ㎜（幅） × 839.1 ㎜(高さ)
	検出領域	925 ㎜（幅）× 520 ㎜（高さ）	1105 ㎜（幅）× 615 ㎜（高さ）	1330 ㎜（幅）× 750 ㎜（高さ）	1435 ㎜（幅）× 805 ㎜（高さ）
	有効検出領域	上記検出領域＋上下、左右 1.0 ㎜			
	分解能	1481（幅）× 833（高さ）	1769（幅）× 985（高さ）	2129（幅）× 1201（高さ）	2297（幅）× 1289（高さ）
	検出ピッチ	2.5 ㎜× 2.5 ㎜			
	出力方式	座標出力			
	光学素子数	186 個（横）× 105 個（縦）	222 個（横）× 124 個（縦）	267 個（横）× 151 個（縦）	288 個（横）× 162 個（縦）
	光学素子ピッチ	5.0 ㎜（横）× 5.0 ㎜（縦）			
	最小スタイラス	7.0 ㎜（横）× 7.0 ㎜（縦）			
インターフェイス		USB1.1 準拠 使用信号：+DATA、-DATA、VCC、GND			
許容温度		稼動時　0℃　～　40℃（温度勾配 25℃ /Hr 以下）※1			
許容湿度		稼動時　20%　～　80%（結露しないこと）※1			
耐外来光		側面光　2000 lx 以上　（入射角度 20°）			
		正面光　10000 lx 以上　（入射角度 90°）			
パネル形状		平面パネル（フラットタイプ）			
外形寸法 （突起部、取付金具は除く）		幅　：1028.2 ㎜ 高さ：　618.2 ㎜ 奥行：　12 ㎜	幅　：1218.2 ㎜ 高さ：　732.2 ㎜ 奥行：　12 ㎜	幅　：1442.2 ㎜ 高さ：　860.2 ㎜ 奥行：　12 ㎜	幅　：1562.2 ㎜ 高さ：　933.2 ㎜ 奥行：　12 ㎜
質量		約 2.4 kg	約 2.7 kg	約 3.1 kg	約 3.3 kg
エスカッション材質		アルミニウム			
対応パソコン		IBM PC/AT 互換機でＵＳＢポート搭載機			
対応ＯＳ		Windows XP（SP2 以上、32bit 版または 64bit 版） Windows Vista（32bit 版または 64bit 版） Windows 7（SP1 以上、32bit 版または 64bit 版）			

※1 タッチパネル単体の場合（機器本体に取り付ける場合は、該当機器の条件に従ってください）

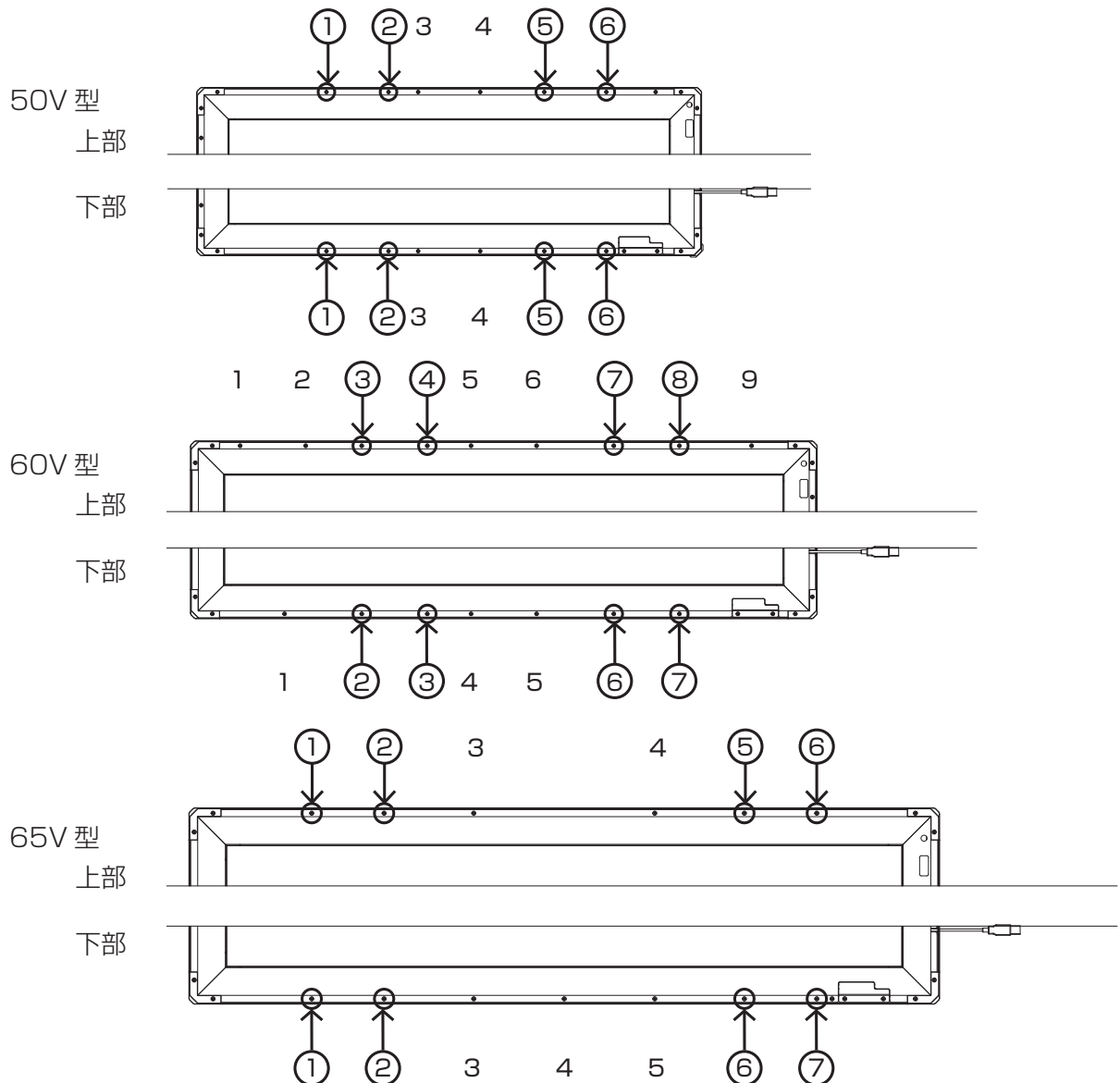
外形寸法図

外形寸法図　（単位：mm）

外形寸法表　（単位：mm）

	42V 型用	50V 型用	60V 型用	65V 型用
A	1028.2	1218.2	1442.2	1562.2
B	618.2	732.2	860.2	933.2
C	621.4	735.4	863.4	936.4

※ 取り付けする機器および締付けの状態により
　寸法が変動することがあります。

ねじ穴図（縦型取り付けの場合）

● ４２Ｖ型については６ページに記載しています。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話　（　　　）　－			
お買い上げ日	年	月	日

1. 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。

3. 修理を依頼されるとき

11 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず USB ケーブルの接続をはずして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。
なお、修理料金については販売店にご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

●補修用性能部品の保有期間　8 年

当社は、この光学式タッチパネルの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号　☎ 大阪（06）6905 － 5574

M0212-0